



田尻町議会だより

たじりの風

8762

Vol.105

平成27(2015)年
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



9月28日

暴力事案対応訓練及び消火訓練 (役場1階にて)

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 5 頁
- ★ この人にインタビュー 8 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 田尻町における集中豪雨対策について
- 吉開 育子 議員 1. 有料家庭用ゴミ袋の無料配布を求める
2. 高卒までの医療費助成の引き上げを求める
3. (仮称) 防災体育館建設について
4. 介護保険料の軽減に公費投入を求める
- 金田 裕治 議員 1. 太陽光発電設備導入家庭への補助金制度創設を
- 東 小夜子 議員 1. 子育て支援について
2. 被災者支援について
- 坂口 実 議員 1. 中1 遺棄事件に対する本町の考えは
2. 町立幼稚園保育所の津波に関する防災避難訓練実績は
3. スマートウエルネス事業の進捗は
4. 町長職の退職金額と4年間の共済負担金は
5. (仮称)防災体育館建設計画のゆくえは

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

問 田尻町における集中豪雨対策は

答 住民の皆様へ啓発活動等が重要と考えている

問 平成26年10月13日、台風第19号の襲来により、床上3軒、床下20軒が浸水し道路の冠水5件の被害が発生した。泉佐野中央ポンプ場と吉見ポンプ場の排水能力が1時間に54.6ミリ。それ以上の雨量に対応していなかったため被害が発生したとの報告があった。最近では1時間に60ミリ以上のゲリラ豪雨が多発するなど自然災害は我々の予想できない規模で発生するため、これからどのような対策をしていくのか。

答 **上下水道課長** 下水道施設等は下水道法に基づく国の基準により設置、施工され、当時（昭和61. 62年）の降雨量の確率や時間降雨量等において定められ

た。近年発生している局地的短期間集中豪雨（ゲリラ豪雨）は当時の想定をはるかに超える雨量が観測されており、国も一定の基準の見直しを含め今後の対応について検討すべき大きな課題として取り組んでいる。本町も状況を十分注意しながら対処し、防災担当部署等関係機関と連携し協力体制の強化、住民の皆様への啓発活動等が重要と考えている。





吉開 育子 議員

問 子ども医療費助成を高卒まで拡大を求める

答 高卒まで拡大する

問 共産党議員団はこれまで何度も子ども医療費助成の拡大を求め、中3まで拡大を実現してきた。昨年9月議会で高卒まで対象年齢引き上げと一部自己負担なしの窓口完全無料を求めたが、町長は「このままで十分」と答弁した。その後、今年3月議会には605名もの対象年齢引き上げと一部自己負担なしの窓口完全無料化を求める請願が町議会に提出された。子ども医療費助成は現在、全国で986の自治体が一部自己負担なしの完全無料、756の自治体が一部自己負担ありで完全無料の自治体の方が多くなっている。改めて、対象を高卒まで拡大し完全無料化の実施を求める。

答 町長 今回、公約として対象を高校卒業まで拡大する。しかし、一部自己負担は税の公平性と受益者負担

の観点から一定の自己負担は必要である。

問 りんくうタウン地区への防災体育館建設は撤回を

答 津波浸水区域外であり撤回しない

問 共産党議員団が行った町民アンケートでは、町がすすめようとしている、りんくうタウン地区に防災拠点となる体育館建設計画について「よくない」という回答が73%だった。「被災の可能性が高い地域を通過し移動する計画は災害に備える案としては欠陥がある」などのご意見も寄せられ、町民は海辺に建設は反対である。防災拠点は一時避難所の駅上広場周辺に確保すべきであり、りんくうタウン地区への建設計画は撤回を求める。健康づくりは、ふれ愛センターの空き部屋の改修などできると考える。

答 事業部長 場所の問題については津波浸水区域外であり、単なるだろうや憶測、感情論でなく科学的根拠に基づくものであり、撤回しない。



金田 裕治 議員

問 太陽光発電設備導入家庭への補助金創設は

答 今後の田尻町地球温暖化対策実行計画の中で検討していく

問 東日本大震災による原発停止後、電気料金の値上げが続ぎ、家計への負担が増している。また、原発の代替として稼働している火力発電もそもそもCO₂を大量に出すことから、地球環境に対する影響が大きい発電である。現在、近隣でほとんどの自治体が太陽光発電設備導入への補助金を設置している。「田尻の電気は田尻でつくる」ぐらいの意気込みで太陽光発電設備を導入される家庭への補助金制度を創設してはどうか。

答 生活環境課長 府内の自治体では現在、18の市町村が太陽光発電設備への導入補助を導入している。一方で、太陽光発電については参入企業が多くなり、関西電力における電気の買い取り価格は年々低下する傾向にある。

本町としては、家庭用燃料電池や家庭エネファーム、電気自動車の普及等年々その状況が変わってきている中であって、今後の田尻町地球温暖化対策実行計画の中で検討してまいりたい。

本町においても、これら財務諸表を積極的に活用できる段階には達していない。





問 災害被災者への町の支援は

答 命を守るためにも体育館建設が必要と考える

問 日本の活断層の中で地震の発生確率が高いグループに上町断層が入っている。上町断層、中央構造線断層帯地震での被災者数は。田尻町の避難場所は。応急仮設住宅の建設は、発災後20日以内に着工とあるがどこに建設するのか。

答 **危機管理課長** 上町断層地震罹災者363人、中央構造線断層帯地震においては2579人の方が被災されるという想定が出ている。避難所としては小学校体育館と全教室。それにふれ愛センターでの避難生活を送っていただくことになる。応急仮設住宅を建設する場所は駅上広場だが、過去の震災等をみると完成に2〜3ヶ

月かかる。だから1000人以上の方に入っていただく体育館建設が必要と考えている。

問 産後ケアの充実は

答 3市3町で調整しながら進めている

問 ゼロ歳児の虐待が全国で7万件あり大阪で1万件ある。(平成27年9月議会現在) 出産直後の母親への精神的身体的サポートは欠かせない。公明党は3市3町の各首長に「広域による産後ケア体制の構築を求める要望書」を提出した。産後ケアの充実を図るべきでは。

答 **健康課長** 産後ケアについては町として前向きに研究している。泉佐野泉南医師会に受けていただけるか相談している。ショートステイやデイサービスは専門の産後ケアスタッフや施設的なものが必要で、町独自では難しい。現在3市3町で調整しながら進めている。



問 寝屋川での中1遺棄事件に対する考えは

答 防犯カメラの増設で対応する

問 寝屋川市中学1年生遺棄事件は2名の尊い命が奪われる結末となり、まずはご冥福を申し上げたい。防犯カメラ映像が早期容疑者逮捕へ繋がった。本町の防犯カメラ設置進捗状況は。また、犯罪防止に向けた児童生徒への再指導は。

答 **生活環境課長** 既に42台設置し、今年新たに10台通学路に重点を置き、設置する。夜間の撮影も可能である。

指導課長 非行防止や薬物乱用防止教室の開催、スマホやLine等の危険性やトラブル回避を、保護者への呼びかけや授業などで事前指導を徹底している。

問 防犯カメラは最終何台の予定か。

答 **生活環境課長** 52台で関係機関との調整終了。犯罪発生状況で今後検討する。

問 たじりエンゼルの津波避難訓練は

答 年2回実施している

問 津波ハザードマップでたじりエンゼルの周辺は、想定される浸水の深さは30cm〜1m未満で、人命に影響が及ぶと明記されている。ゼロ歳から5歳の命を守る津波避難訓練実績の報告を求める。

答 **こども課長** 毎月様々な想定で、防災訓練を実施。津波想定訓練は年2回であり、中学校屋上や駅上広場に避難した。ゼロ歳から2歳児は、避難用8人乗りバギー6台やベビーカー3台で訓練している。

問 避難所要時間と行政無線はあるか。

答 **こども課長** 園庭までは15分。中学校の屋上へ避難した場合は30分で完了した。現在防災行政無線はないが設置に向け検討する。

問 避難を必要としない安全な場所へ幼保施設を移転しては。

答 **こども課長** 津波到達まで80分あるので、現在の場所でも対応できる。

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁 部 順 行

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。（9月7日開催）

◎田尻町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例制定の件

（条例の制定） 【全会一致で可決】

問 今回の条例制定により、いわゆるマイナンバーの町での活用策や適用範囲など全体像はどのようなものか。

答 町の独自利用の部分については、これから内容や範囲を全庁的に協議し、決まったものは、12月や来年3月の議会で、条例改正を行う。本条例案については、庁内連携について法の定めがないので、定めたもの。

問 情報の漏えいがないように原則、情報の管理は、それぞれの所管部署が行うということだが、そのことにより、DVで逃れてきた人の情報が、DV被害にあっていることを知らない部署から出てしまうことはないのか。

答 以前からDVのようなケースについては、情報を共有し、共通認識のもと管理を行っている。

問 マイナンバーについては、情報も少なく、よくわからない人も多いと思うので、周知を徹底すべきでは。

答 現在パンフレットの窓口設置や、広報などで周知を行っているが、今後、検討していきたい。

問 申請時の顔写真は年齢とともに変わってしまうと思うが、そのまま使用するのか。

答 成人の場合、発行日から申請者の10回目の誕生日まで、20歳未満の場合は申請者の5回目の誕生日まで有効となっている。

問 マイナンバーで与えられた番号は変更できないのか。

答 カードを紛失したり、不正使用されるなど理由があらかな場合、変更することができる。

◎平成27年度田尻町一般会計補正予算（第2号）の件（1億4,346万9千円の増額） 【全会一致で可決】

問 「りんくうタコカーニバル事業費補助金」はなぜ9月議会での補正となったのか。

答 今回、事業を拡大したい旨の要請が1月下旬にあり、泉佐野市、泉南市、そして田尻町からなる事業補助であることから、2市1町での協議が必要となり、その協議に時間を要したため。

問 プレミアム商品券が利用できる店舗には、小規模な

店舗もある。換金には時間がかかるのか。

答 月に3回、換金の手続きを考えている。

問 プレミアム商品券の発売に際し、ならび方やその場所など配慮が必要と考えるが。

答 当日は十分配慮します。

問 今回財政調整基金へ1億1千万円の積み立てがあるが、現在額はいくらになるのか。

答 平成26年度末に約50億の残高となっておりますので、それに今回の1億1千万円がプラスされたものと認識していただけたらと考える。

文教厚生常任委員会

委員長 吉 開 育 子

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。（9月8日開催）

◎田尻町手数料条例一部改正の件

（条例の一部改正） 【全会一致で可決】

問 「住民基本台帳カード」が「個人番号カード」と名称が変わるだけで手数料が300円引き上げられるのか。

答 名称のみの変更ではなく、「住民基本台帳カード」の新規交付、再発行は廃止となり、新しい制度のもと、従前のカードとは異なる「個人番号カード」に変更となるため。

◎田尻町放課後児童健全育成事業に関する条例一部改正の件

（条例の一部改正） 【全会一致で可決】

問 学童保育（なかよし学級）に指定管理者制度を導入することで、利用料金や指導員の数など変化はあるのか。

答 利用料金は今の利用料金を上限とするもので、上がることはない。また、指導員については、本人が希望すればそのまま雇用を続けるよう考えており、人数に変化はない。

問

答 安定的な人材確保とはどういう期待をしているのか。今考えている指定管理者は、人材を確保することにたけた業者が多く、指導員に不足が生じても補充してもらえ、安定した運営が可能となる。

問

指定管理になれば、経営者が変わるということで、保護者や引き続き雇用される指導員は労働条件も変わる可能性もあることから、不安もあると思うが安定的な運営の維持のためどのように考えているのか。

答 保護者にとっては、メリットの多い制度と考える。指定管理は、安定的な人材確保を目指すものであり、人の確保なくして、安心安全な保育の提供はできない。また働く者にとっては、経営者が変わることで厳しい面も

でも最低保証額を定め、業者に示していく。

問 管理体制の強化とは具体的にどういうことか。

答 現在の「なかよし」にはリーダーがない。指導員の立場は並列、短時間勤務の交代制であり、情報の共有、引継ぎもできない状況にあることから、常時リーダーを置くことで管理体制を強化する。

問 指導員の資格の有無についてはどのように考えているのか。

答 平成26年4月に国から有資格者の配置基準が示された。今後は、国の基準に従い、リーダー格の支援員は有資格者、その補助員は、無資格者でも問題なく運営はできる。

問 指定管理にすることで経費面ではどのようなになるのか。

答 現在より低く抑えられると考えている。

問 不測の事態があった場合、責任の所在はどうなるのか。

答 リスク分担表を作成し、業者と責任の所在を明確にする。

問 指定管理への移行は、現指導員は納得しているのか。

答 雇用は保証しているため、収入面での不安が大きいようであり、業者が決まればしっかりと説明していきたい。

◎平成27年度田尻町一般会計補正予算（第2号）の件
（1億4,346万9千円の増額） 【全会一致で可決】

問 「放課後児童クラブ指定管理者候補者選定委員会委員報酬」について、この委員会は何名で構成されるのか。

答 この委員会は、放課後児童クラブ指定管理者の選定について審議、審査する附属機関であり、5人で構成される。

◎平成27年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）の件
（3,484万5千円の増額） 【全会一致で可決】
・平成26年度の決算額の確定に伴うものが主な補正予算である。

◎平成27年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件
（54万9千円の増額） 【全会一致で可決】
・平成26年度の決算額の確定に伴うものが主な補正予算である。

◎平成27年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第1号）の件
（722万3千円の増額） 【全会一致で可決】
・前年度の繰り越し金や補助金が確定したことに伴う補正予算である。

決算特別委員会

委員長 吉 開 育 子

決算特別委員会に付託された案件の審査結果、並びに経過報告。 （9月10、11日開催）

◎平成26年度田尻町一般会計決算認定の件

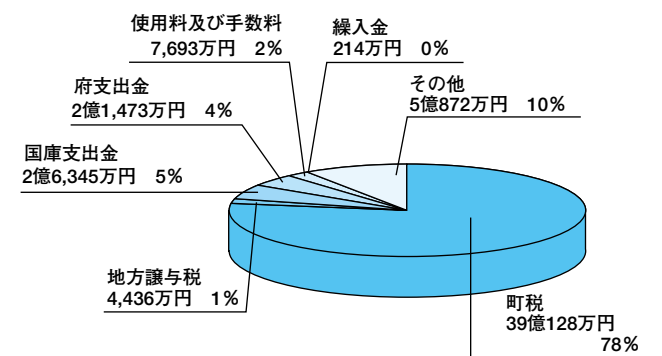
【賛成8、反対1で認定、本議会認定】

歳入

問 空港関連の固定資産税はどのくらいか。

答 平成26年度の関空関連の固定資産税額は、26億9,600万円である。

歳入

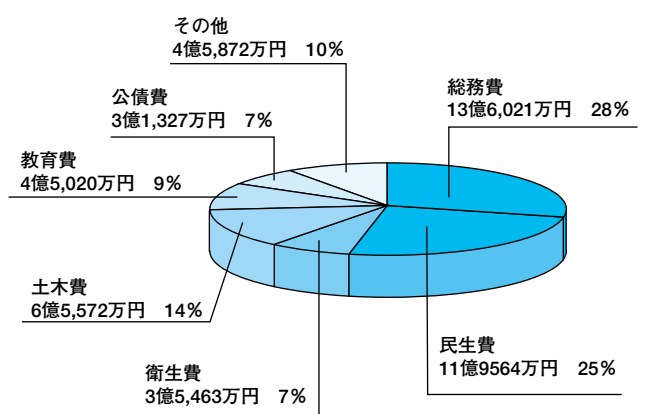


歳出 総務費

問 「たじりっち」をもっと活用しては。

答 たじりっちそして、町のPRも含め、現在様々なイベント等に出向いているところだが、来年度に向け、さらにどうことができるか検討していきたい。

歳出



民生費

問 保育士の確保はどことも厳しいと思うが、どのように考えているのか。

答 賃金の引き上げや勤務時間の配分の変更等を実施した。

衛生費

問 健康たじり保健計画とは。

答 健康増進法による、健康増進計画と母子保健に係る健やか親子計画、そして食育推進計画の3つを合わせて策定した。例えば健康増進計画では、田尻町の健康課題である循環器疾患等について、目標や対策を計画に定めている。



農林水産業費

問 土地改良区の補助金で行った事業とは。

答 土地改良事業の農道整備や水路の修繕を行っている。



消防費

問 災害が起こった時、水と同じくらい大切なのがトイレであるといわれているが、その整備状況は。

答 現在組立トイレを7つ備蓄している。今後新しい地域防災計画に基づき、備蓄を進めていきたい。

問 町内放送が聞こえないという不満があるがいかか。

答 放送が聞こえないという問題は、電話による問い合わせという形で補完体制を構築している。

反対討論 平成26年度一般会計予算は、実質収支2億1,300万円の黒字決算である。共産党議員団は、子育て世代の切実な願いである保育所及び学童保育施設の拡充を求めてきた。増田寛也氏の著書では、田尻町は、人口は大きく減少することはない、こどもの数は横ばいで推移すると報告されているにもかかわらず、町はいずれこどもの人数は減少するとして、施設の拡充をしてこなかった。また、町道りんくう嘉祥寺線の桜並木の一部の根上りによる歩道の隆起の解決策について、桜を温存し

たまま歩道修繕はできると専門家の声を紹介した共産党議員団の提案を聞き入れず桜を全部伐採した。よって本決算認定には反対する。

賛成討論 平成26年度の一般会計決算認定については、慎重審議を行った。内容は繊細かつきめ細やかな展開であり、平成28年度当初予算につながるものである。特に十数年来課題となっていた吉見の里駅踏切拡幅の決定やこどもたちへの様々な施策、安心を最優先して桜の伐採を実施するなど、町長の判断を見ることができ、適正であると認められるので、賛成する。

◎平成26年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件 【全会一致で可決】

問 国民健康保険料の滞納件数と差し押さえ件数は。

答 滞納件数は111世帯で、この世帯の方については財産調査等を行っている。また、平成26年度の差押件数は7件、取立て金額は131万5,152円となっている。

なお、財産のない世帯については、差押ができないので滞納処分の執行停止を行っている。

◎平成26年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件 【賛成8、反対1で認定、本議会認定】

問 滞納による強制徴収は26年度はあるのか。

答 26年度は収納率100%なので、滞納はない。

反対討論 75歳以上の人口と医療費が増えれば保険料に跳ね返っていく仕組みになっており、前政権では廃止も検討された。26年度も増額となっており、値上げの当該年度でもあることから反対する。

◎平成26年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

問 地域包括支援センターの委託料は、今「花みずき」は多分3名かと思うが、この委託料はほとんどが人件費なのかそれとも事業費も含んだ委託料なのか。

答 地域包括支援センター・花みずきの方には現在主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師、そして看護師の計4名配属させていただいており、地域の見守りといった包括的な高齢者のためのケアをしているので全て人件費である。



◎平成26年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件
【全会一致で可決】

問 公債費支出が4億8,168万1,134円出ているが、大きな利用が今後ともなければいつまでに完了するのか。

答 平成26年度末の残高は約41億円であり、今の予定では51年度で一応完済する予定であるが、27年度から再度起債の方を発行し吉見ポンプ場関連の工事をやるので完済の年度が少しずれ込む予定である。

◎平成26年度田尻町水道事業会計決算認定の件
【全会一致で可決】

問 給水停止は本町では何件あるのか。また何カ月払わ

なかったら停止となるのか。

答 平成26年度の給水停止の件数は39件で、滞納してから約4カ月後に給水停止をしている。



この人に インタビュー

田尻町ボランティア連絡会

会長 高 田 昌 代さん (51)

Q 連絡会の簡単な経緯を教えてください。

A 平成14年7月1日に設立され、私が連絡会の担当として参加したのが5年前です。
会長になったのは3年前からになります。

Q 現在の加入団体数は？

A 当初は「ボランティアの集い」の1団体から出発したようですが、今は16団体になりました。

Q 連絡会としての取組みは？

A それぞれの団体は日々のボランティアで頑張っていますが、連絡会としては田尻町社会福祉協議会の協力をいただきながらコミュニティサロン「チョボラッタ」の運営、それにボランティア情報誌『チョボラ』を年3回発行しています。

Q 近年は防災をテーマに研修を続けています。

A ボランティアは忙しくないですか？

自分の感覚ではボランティアをしているという意識より、みなさんと一緒に楽しいことをしているといった感じです。誰かのためにという思いは大切ですが、自分が楽しいと思うことがボランティアを続けられる秘訣だと思っています。



—開かれた議会を目指して—



現在町役場本館にエレベータを設置する工事が行われています。完成しますと、議場や議会事務局があります3階にも楽に来ていただけるようになります。もっともっと議会を傍聴される方が増えることを期待しております。ただ、せっかく3階には楽に上がれるようになったのに、議場のつくりが古いため車いすの方など結局傍聴席には行けないというのが現状です。そこで、傍聴席にいけない方々にも議会を見ていただけるよう議場の一部を改造します。12月議会に間に合うよう、工事は進められています。詳しくは議会事務局にお尋ねください。

